

事業所名 グループホーム マザーハウス

作成日：平成 30年 12月 15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	総合避難訓練ではせっかく駆けつけた職員や近所の方々に適切な指示ができていない。職員も訓練の前にマニュアルなどの確認は行いが、どうにか動きが出来る感じである。一人になった時に不安がある。	訓練の中で、誰に対しても適切な指示が出来るようになる。	・避難訓練で協力者がスムーズに役割分担され利用者の対応が出来るよう、全職員がマニュアルを周知し、職員会議で確認をする。 ・消防、避難訓練に関する事(機械の操作も含む)を毎月第1週目の朝礼時に行う。	4 ヶ月
2	11	職員会議などで意見は出るものの、反映されている事が少ない。また記録なども整理されていない。	意見の出やすい環境を整え、記録を取り、整理をする。	・毎月の職員会議で運営に関する意見を聞く。 ・付箋を利用し、気付いた時に気付いた事を書いてもらう。 ・出された意見は別紙にて整理し、必要な事は施設長を交え検討する。	6 ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアの実践で「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を全職員で正しく理解できているのか確認をしたい。	身体拘束をしないケアの実践に関する研修体勢を明確化し、身体拘束をしないケアに取り組む。	・管理者だけではなく委員会メンバーで全職員への研修を計画する。 ・3ヶ月毎の研修を実施し、不参加者は代替日を設ける。 ・外部研修に参加をする。	4 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。